

No	問合せ内容	回答
1	現在、国の競争参加資格（全庁統一共格）を申請中で審査待ちの状態だが、そのような場合は審査結果待ちとして申請可能か。	公告開始後に資格申請を行う場合、本公募の応募書類提出期限までに資格審査が完了せず、資格審査結果通知書の写しを提出できない場合があります。応募書類の提出期限である3月19日（木）時点において資格審査中である場合は、資格審査申請中であることが確認できる書類をご提出ください。この場合、資格審査結果通知書の写しは3月27日（金）まで提出可能とします。 なお、3月27日（金）までに資格審査結果通知書の写しが提出されない場合は、企画競争への参加資格を満たさないものとして取り扱いますので、ご注意ください。
2	対象の研究シーズは、TeSH全域のシーズでしょうか、その中の金沢大学内のシーズでしょうか。	対象はTeSH全域のシーズです。
3	提案書に提案者の社名・ロゴが入っても問題ないでしょうか。（公平性の観点から社名を伏せて提案するケースがあるため）	提案者の社名・ロゴが入っても問題ありません。
4	業務仕様書の5.業務内容（5）に記載のある“他事業者”との連携とありますが、現時点での“他事業者”の対象や連携内容の想定はございますでしょうか。	国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）が実施する「全国ネットワーク構築支援事業」の趣旨に基づいた経営者候補人材のデータ蓄積を目的に、経営者候補人材に対して全国データベースへの登録を促していただくことを想定しています。
5	TeSHが開催するイベントとマッチアップでイベントを開催することは可能でしょうか。	規模や内容次第では、相談できる余地はあるかと思えます。
6	様式1は、「応募申請書」でよろしいでしょうか。 添付されたワード様式1が応募提案書となっておりますので、ご確認をお願いいたします。	様式1は「応募提案書」を指しております。 当初の記載に誤りがございました。お詫びして訂正いたします。
7	企画提案書はA4（またはA3）であれば、フォーマットは任意でよろしいでしょうか。	フォーマットの指定はございませんので、任意の型式でご提出ください。
8	研究者と経営者候補人材のマッチング手法は、提案者が効果的であると考えられる手法を提示させていただいてよろしいでしょうか。（イベントを実施しなければならないなどの手法の制約はありますでしょうか。）	業務仕様書では、「個別面談」や「少人数制イベント」をマッチング機会の基本的な方法として例示しておりますが、これらに限定するものではありません。有効かつ効果的と考えられる手法がございましたら、ご提案いただいで差支えありません。
9	有効支援マッチング数とは、経営候補者の参画が決定した研究者（研究チーム）数との理解でよろしいでしょうか。	有効支援マッチング数は、研究者（研究チーム）と経営者候補人材とのマッチングが成立した件数を指します。
10	マッチング候補研究者は、研究計画・予算において、経営候補者に対する謝金を計画に入れておりますでしょうか。 （経営候補者は謝金を受け取る可能性がありますでしょうか。研究者の保有する予算からの謝金を前提とせず、設計をすべきでしょうか。）	経営者候補人材に対する謝金について、研究計画・予算での算出は個別の研究者により異なります。プラットフォームとして計画している予算はございません。個々の研究者において、ケースに応じて支払うことを想定しております。 なお、業務実施にあたり、マッチング成立前の段階において、事業者様より経営者候補人材に対して費用をお支払いいただくことは差し支えございません。 その場合には、見積書の中に当該費用について記載いただきますようお願いいたします。
11	令和9年度のステップ2募集も、2月頃の想定でよろしいでしょうか。 （ステップ2申請に向けた検討期間を確認させていただきたく、ご質問をさせていただきます。）	令和9年度の募集については現時点では未定ですが、概ね、令和7年度同様のスケジュールを想定しております。
12	ステップ2申請希望者に対するVCマッチング機会、VCを紹介する支援メニューなどはTeSH様プラットフォームとして提供されますでしょうか。提供される場合は、具体的な時期や内容についてご教示いただけますと幸いです。	参考として、令和7年度はプレミアムセッション（8月）、デモデイ（11月）、各種首都圏イベントなどにてステップ1採択者の発表機会を設け、VCとのマッチングを支援しております。